

令和2年度  
国土交通省関係予算概要  
(九州地方整備局関連)

— 記者発表資料 —

参考資料

- ◇ 河川事業関係 ……P 1
- ◇ 道路事業関係 ……P 29
- ◇ 港湾・空港事業関係 ……P 55
- ◇ 都市・住宅事業関係 ……P 74
- ◇ 官庁営繕事業関係 ……P 82

令和2年3月31日

国土交通省九州地方整備局

# 河川事業関係

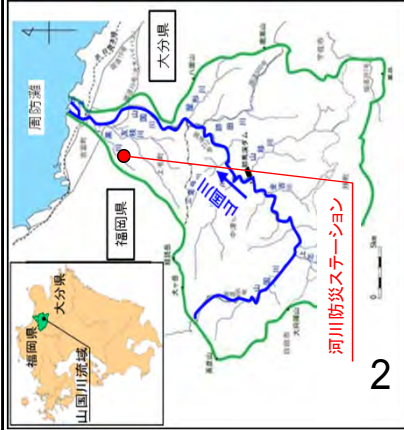
# 唐原河川防災ステーション整備事業【直轄】

新規

河川-1

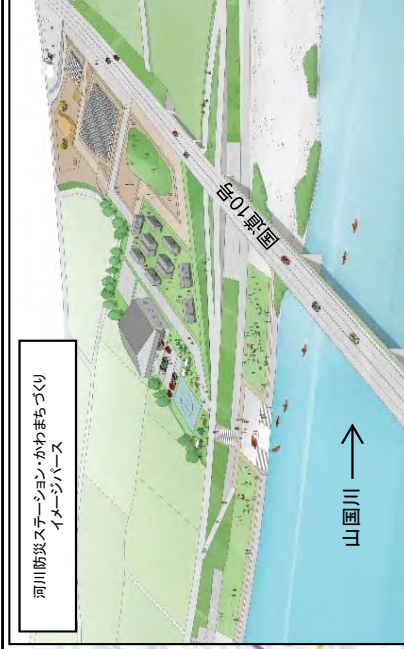
■山国川では、平成24年7月九州北部豪雨で家屋等の浸水被害が発生。洪水時の水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄し、資材の搬出入等の作業面積を確保するために「河川防災ステーション」の整備を、上毛町と連携し実施。

■「河川防災ステーション」を整備することで、山国川流域や他流域や他流域において甚大な浸水被害等が発生した際に、迅速な復旧活動や広域支援が可能となるほか、「山国川下流地区かわまづくり」とも連携を図る。



**事業費：510百万円**

※山国川水系における直轄河川改修事業の令和2年度事業費を記載しております。



河川防災ステーション主な整備メニュー

| 事業主体 | 整備内容(役割分担)             |
|------|------------------------|
| 国交省  | 盛土造成、緊急復旧用資材の備蓄、ヘリポート等 |
| 上毛町  | 水防センターの設置              |



### ■ 船小屋地区水辺整備事業

○ 近年、矢部川流域では、県営筑後広域公園(整備中)や九州新幹線新船小屋駅の開設、川の駅船小屋恋ぼたのオープンなど観光振興の気運が高まっている。一方、かつて水浴場として賑わっていた船小屋地区(筑後市・みやま市)の水辺は賑わいが失われている。

○ 矢部川では「船小屋地区かわまちづくり」が登録されており、水辺整備により、まちと矢部川が一体となった空間形成を行い、船小屋地区全体の水辺の賑わいを創出を目指す。国土交通省において、河川利用上の安全性を高めるため、高水敷整正等の整備を実施。

### 位置図

事業費：197百万円



### 事業箇所

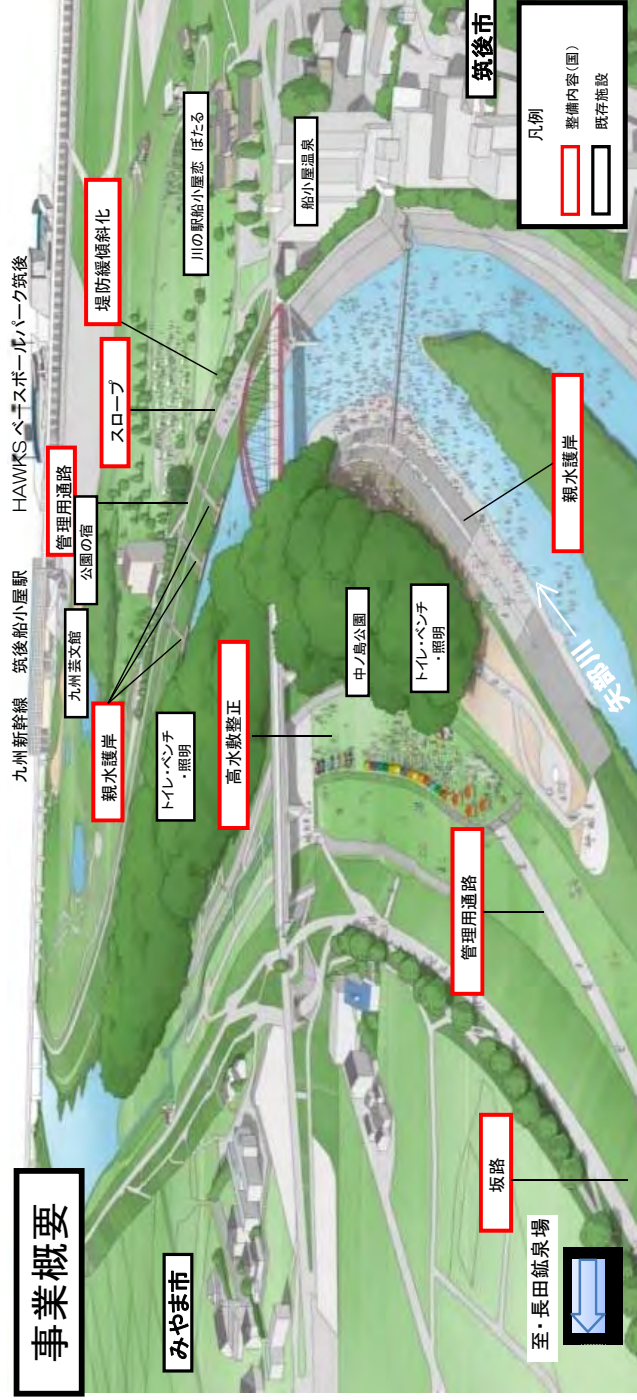
### 事業の効果

隣接する筑後広域公園等の周辺施設と一体となった賑わいのある水辺空間が創出され、観光振興と地域の活性化が図られる。

令和2年度

実施内容：高水敷整正、坂路等

### 事業概要



船小屋地区のかつての賑わい(昭和30年頃)



実証実験(R1.9.29)



実証実験(R1.12.21)

平成30年度から筑後市・みやま市のかわまちのかわまち実行委員等が企画した賑わいづくりの実証実験を行っている。(令和元年度は2回実施)

# 筑後川水系桂川・荷原川河川災害復旧等関連緊急事業【補助】

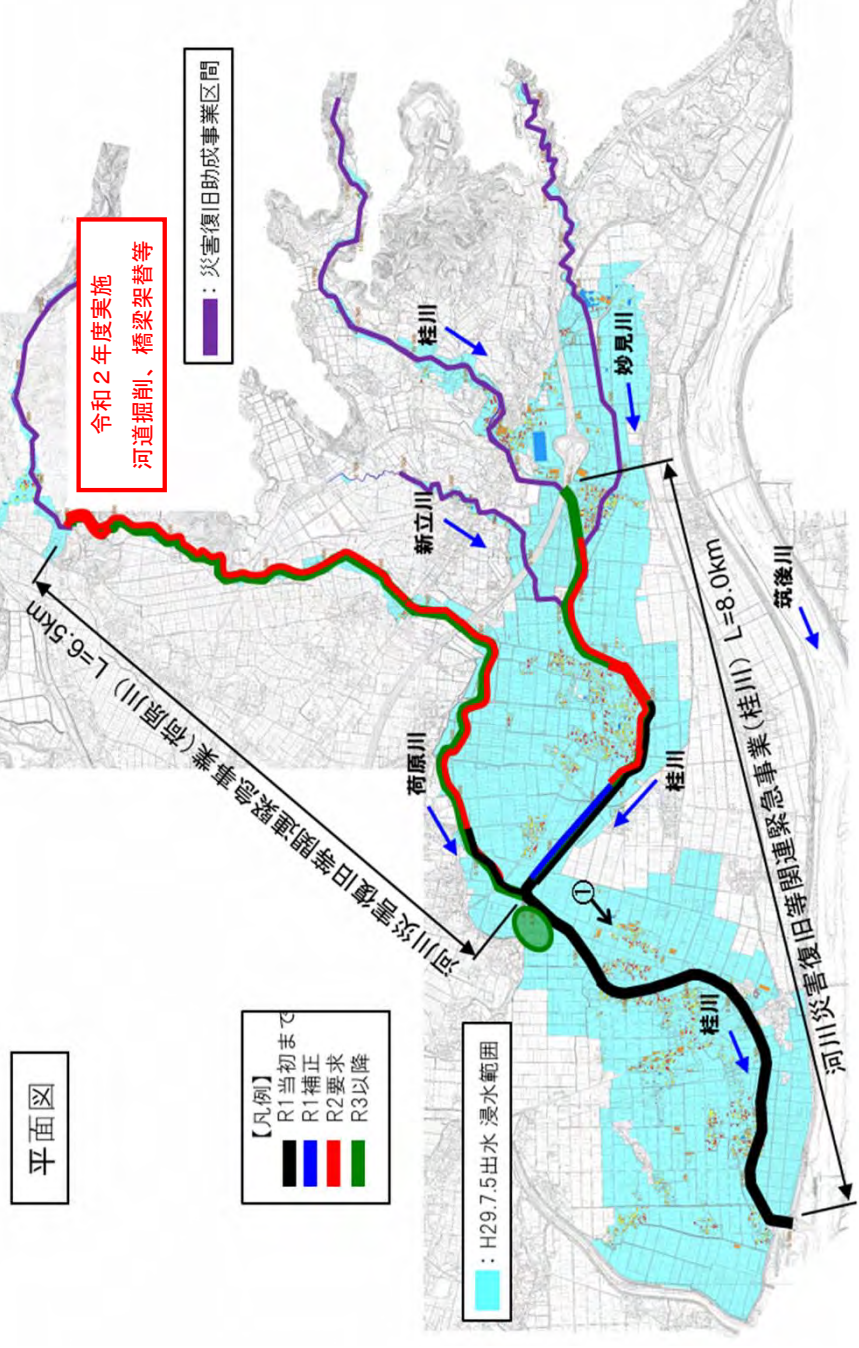
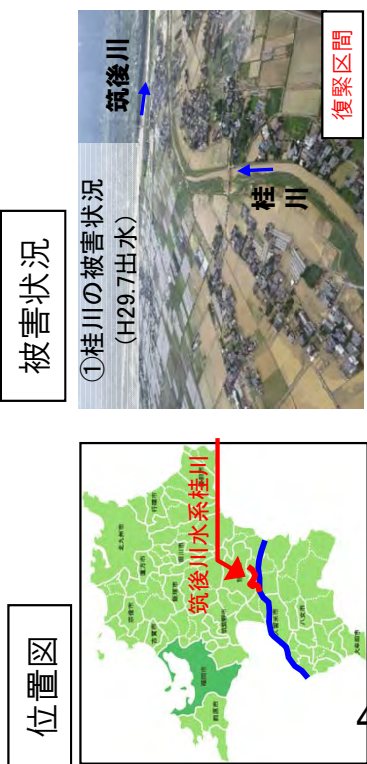
継続

河川-3

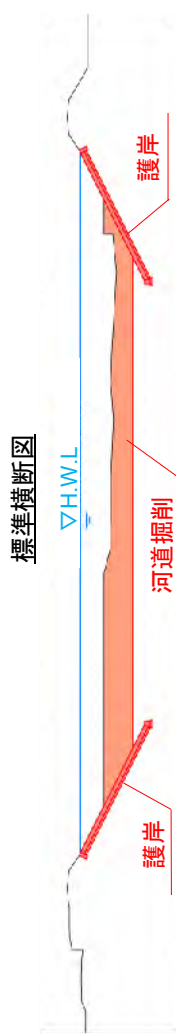
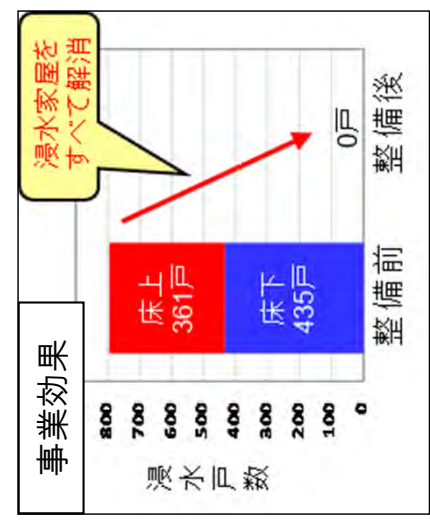
## ■筑後川水系桂川・荷原川河川災害復旧等関連緊急事業（朝倉市）

○平成29年7月の九州北部豪雨により、桂川流域において床上浸水361戸、床下浸水435戸の甚大な浸水被害が発生した。このため、河川災害復旧等関連緊急事業により、河道掘削、築堤等を実施し、早期に治水安全度の向上を図る。

事業費：10,400百万円



|       | 浸水戸数(戸) |     | 浸水面積 (ha) |
|-------|---------|-----|-----------|
|       | 床上      | 床下  |           |
| 平成24年 | 3       | 9   | 12        |
| 平成29年 | 361     | 435 | 796       |
|       | 合計      | 12  | 323       |
|       | 合計      | 796 | 1098      |



※単独事業との連携により、浸水被害を解消する

# 筑後川水系赤谷川特定緊急砂防事業

継続

河川-3

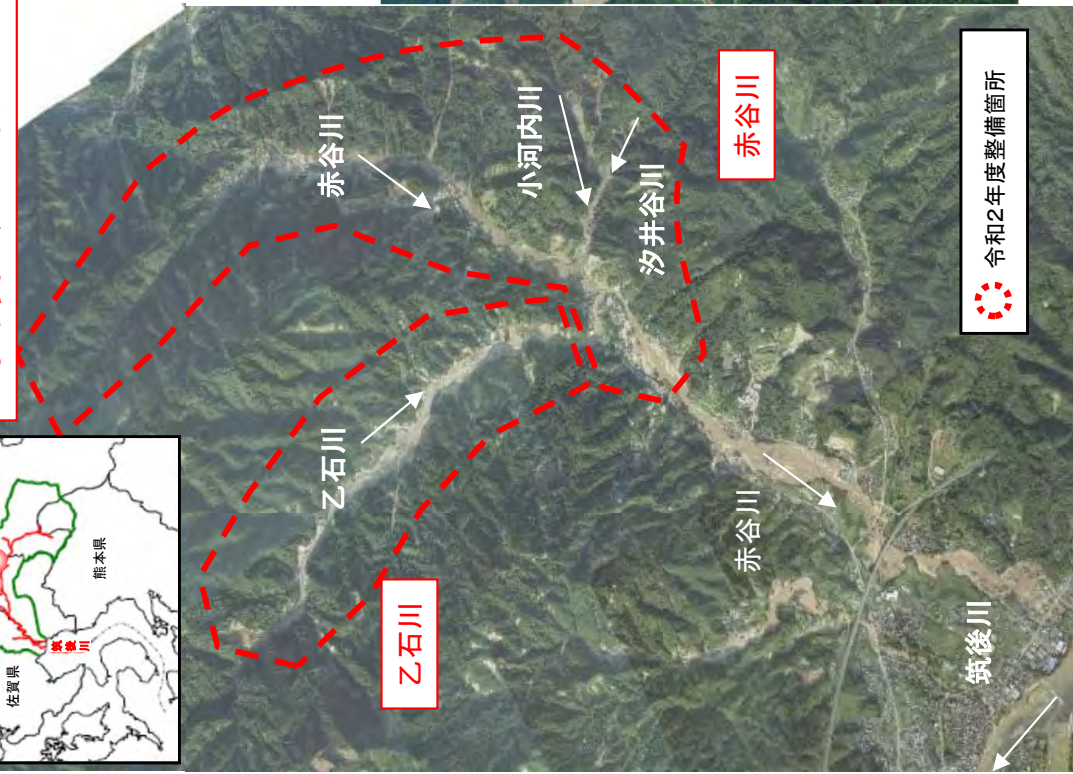
## ■筑後川水系赤谷川特定緊急砂防事業(朝倉市)

○平成29年7月の九州北部豪雨を踏まえ、土砂災害による被害を防止・軽減するために筑後川水系赤谷川において緊急かつ集中的に砂防堰堤等の整備を実施。

位置図



令和2年度  
実施内容:砂防堰堤工等  
事業費:4,000百万円



集中豪雨による土砂災害(平成29年7月)



集中豪雨による流木災害(平成29年7月)



山腹崩壊・被災状況



流木捕捉効果の高い  
透過型砂防堰堤イメージ

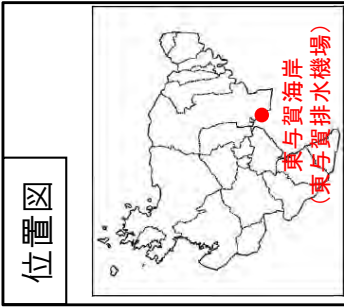
# 東与賀海岸大規模海岸保全施設改良事業【補助】

新規

河川-5

■東与賀海岸大規模海岸保全施設改良事業（佐賀市）

○老朽化した東与賀排水機場の背後地はゼロメートル地帯が広がり、満潮時には自然排水が困難な低平のため、機器が故障した場合、広範囲で浸水被害を受ける危険性がある。設備更新を計画的・集中的に実施することにより、防護機能を確保し、早期に地域の安全性の向上を図る。

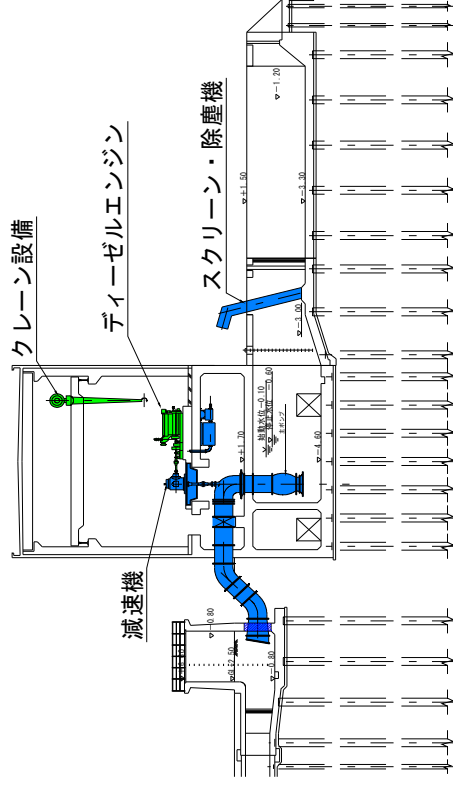


## 東与賀海岸周辺の状況



事業費：140百万円

## 東与賀排水機場 施設更新箇所



## 東与賀排水機場施設全景



## 東与賀排水機場施設内部状況



# 六角川水系六角川・牛津川河川激甚災害対策特別緊急事業【直轄】

## 六角川水系武雄川・広田川・山犬原川河川激甚災害対策特別緊急事業【補助】

継続

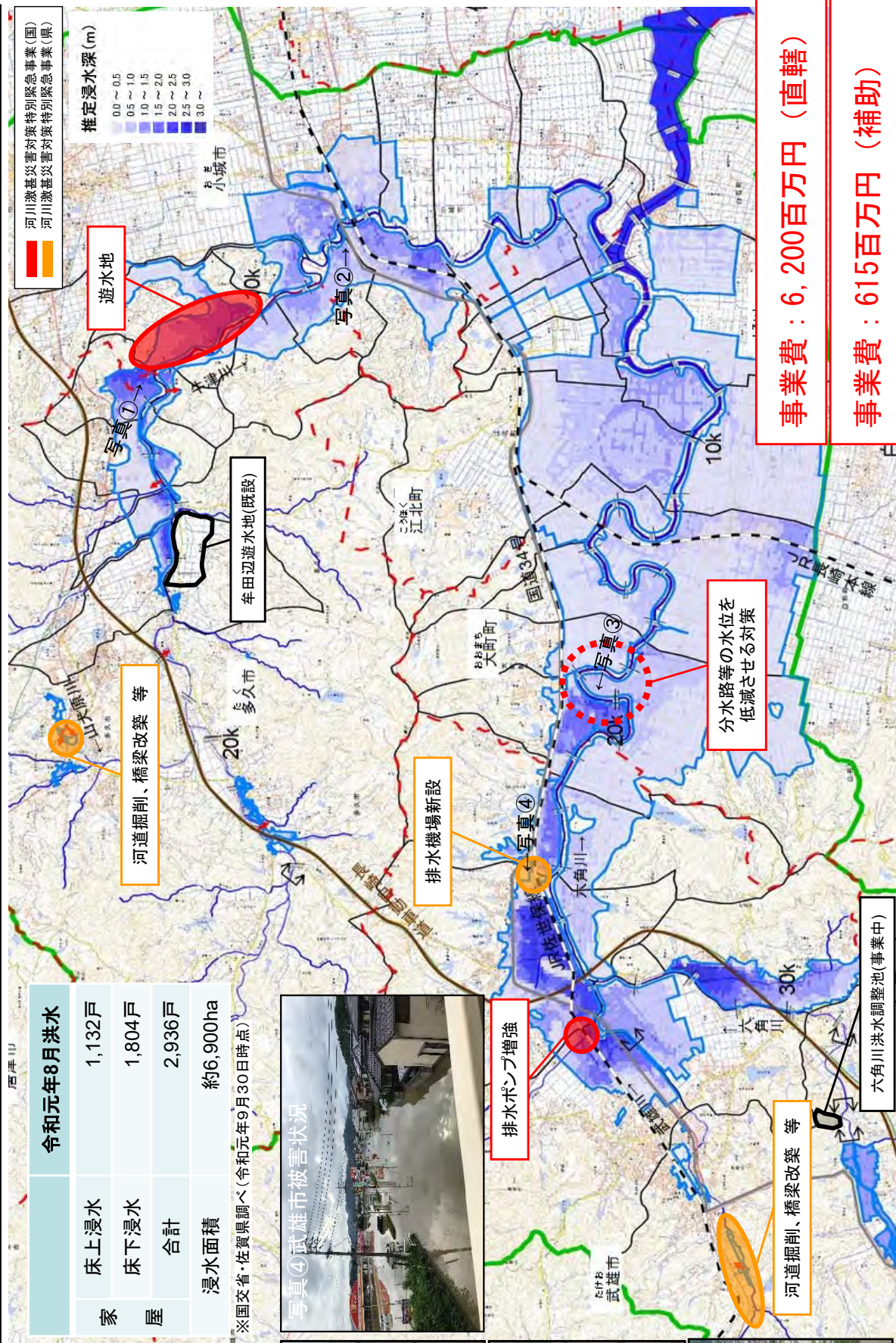
河川-6

- 令和元年8月豪雨では、六角川水系牛津川で観測史上最高水位を記録し、堤防からの越水、支川や水路からの氾濫により、六角川水系において甚大な被害が発生。
- 本事業を実施することにより、六角川水系において浸水被害軽減を図る。



| 令和元年8月洪水 |          |
|----------|----------|
| 床上浸水     | 1,132戸   |
| 床下浸水     | 1,804戸   |
| 合計       | 2,936戸   |
| 浸水面積     | 約6,900ha |

※国交省・佐賀県調べ(令和元年9月30日時点)



事業費：6,200百万円(直轄)

事業費：615百万円(補助)



# 城原川ダム建設事業【直轄】

継続

河川一七

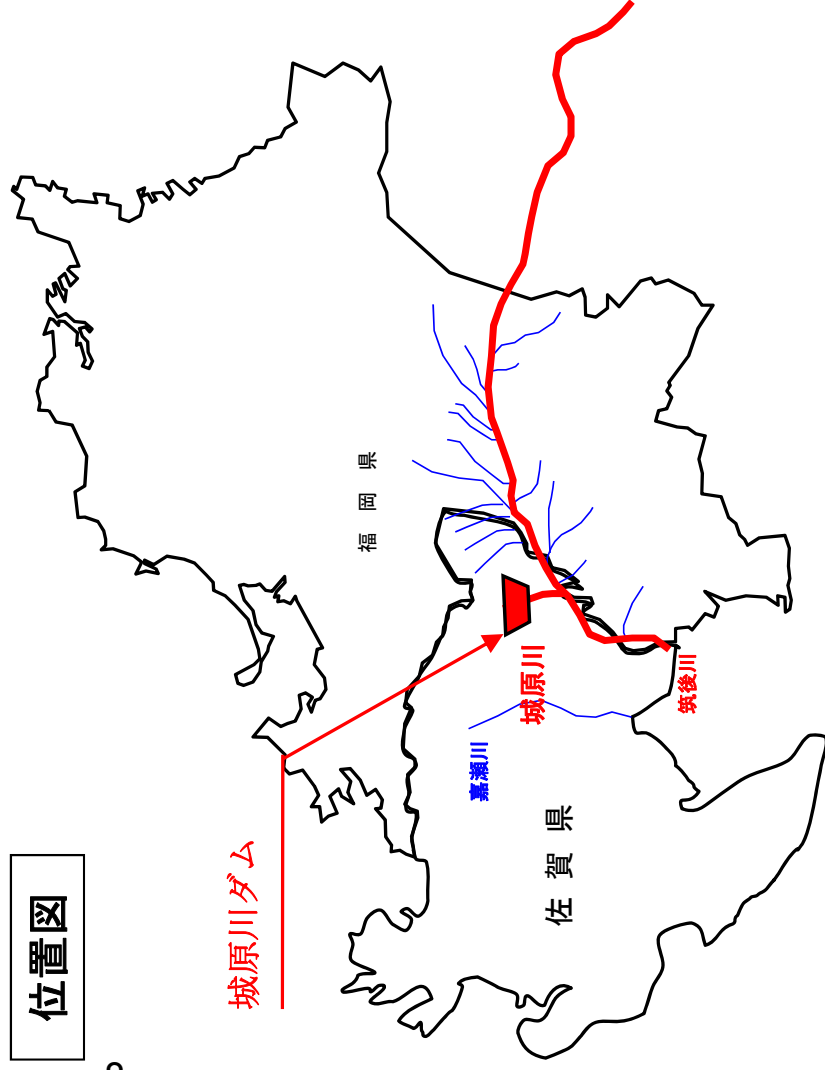
## ■事業概要

- 場所 佐賀県神埼市かんざし（筑後川水系城原川ちくごがわ）
- 目的 洪水調節
- 諸元 堤高：約60m 総貯水容量：約3,550千m<sup>3</sup>
- 経緯 昭和54年度 実施計画調査着手  
平成30年度 建設事業着手
- 事業効果 ダムによる洪水調節を行い、城原川ダム下流域の治水  
安全度の向上を図る。
- ◆洪水被害軽減を図る洪水調節専用のダム

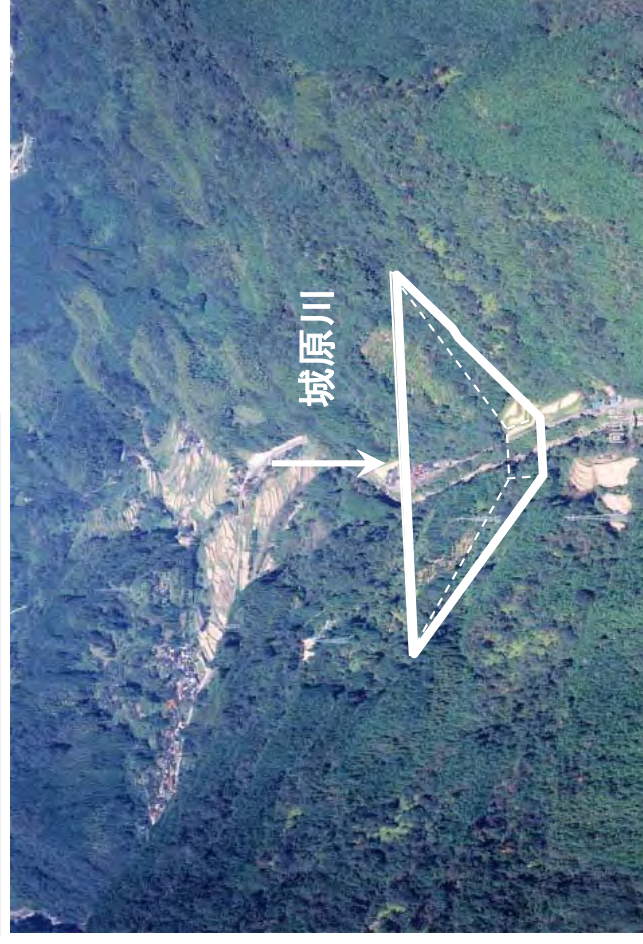
■令和2年度実施内容  
用地調査、工事用道路工事、  
付替道路の調査・設計等

事業費：779百万円

## 位置図



## 城原川ダム完成イメージ



# 江ノ浦川水系江ノ浦川大規模特定河川事業【補助】

新規

河川-8

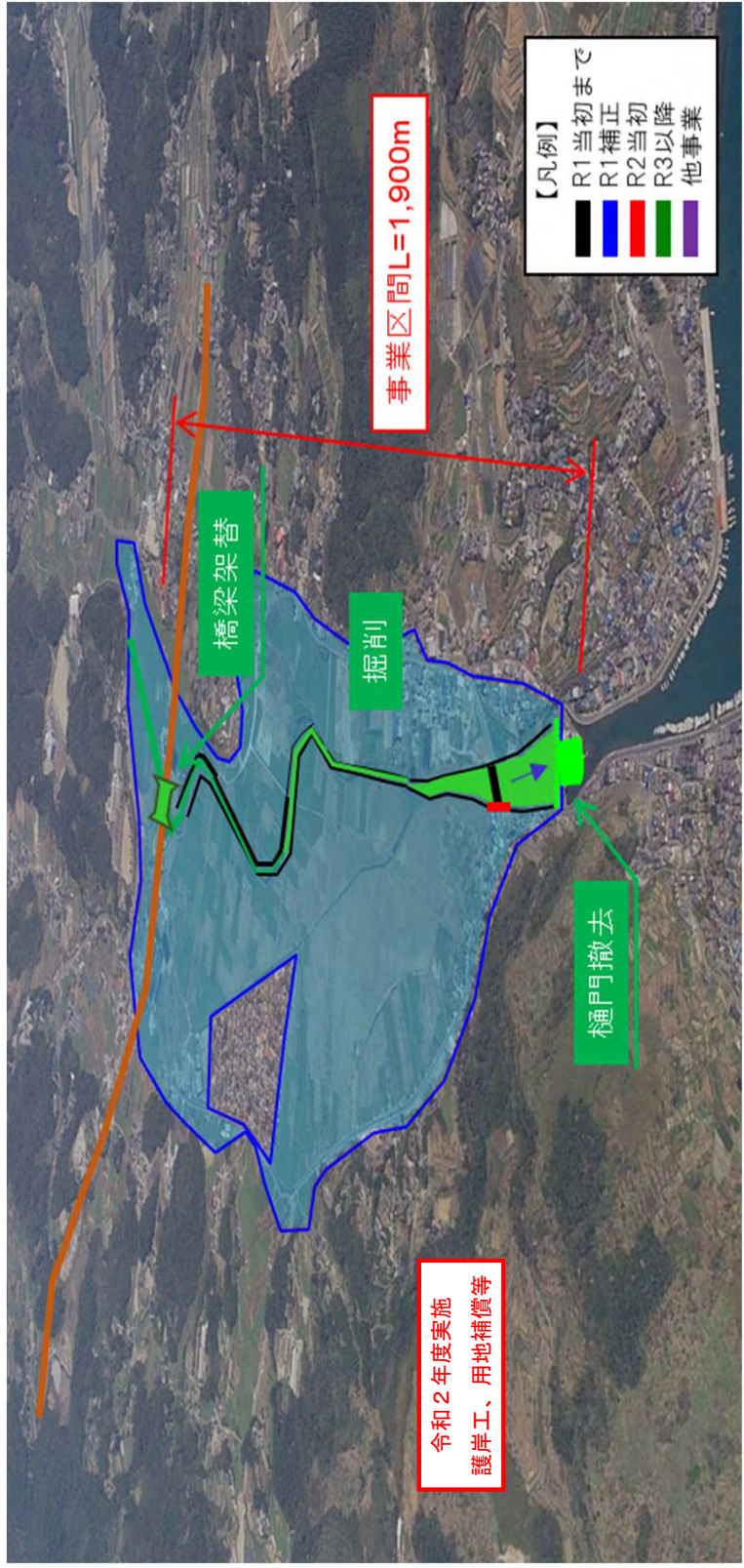
■江ノ浦川水系江ノ浦川大規模特定河川事業（諫早市）

○江ノ浦川水系江ノ浦川は昭和57年7月の豪雨により、床上浸水480戸、床上浸水面積105haの甚大な被害が発生した。このため、大規模特定河川事業により、河川改修を集中的に実施し、早期に治水安全度の向上を図る。

位置図



平面図



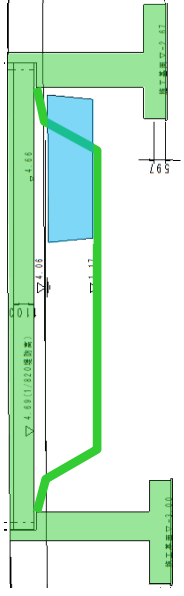
事業費：282百万円

事業区間L=1,900m

浸水戸数

昭和57年  
床下480戸  
浸水面積105ha

事業実施のイメージ

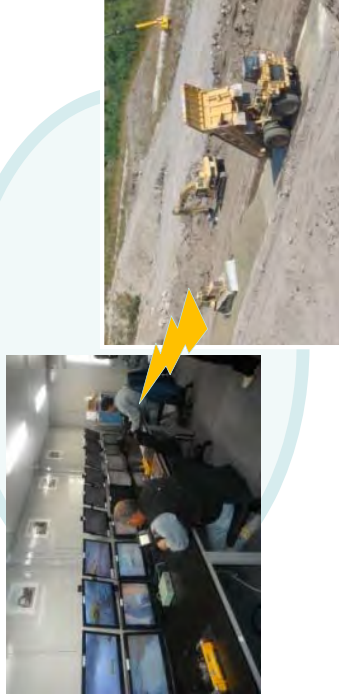


■雲仙・普賢岳は、平成2年11月に噴火活動を再開し、噴火に伴う火砕流や土石流によって甚大な被害が発生。現在でも大量に土砂が堆積し、毎年のように土石流が発生している。また、山頂付近には溶岩ドームと呼ばれる巨大な岩塊群が形成され、崩落等の危険性が懸念されることから依然として警戒区域として無人化施工が設定されている。

■このため、砂防設備の整備や除石等は、無人化施工による高度な技術を用いて、整備を行う必要がある。

**令和2年度  
事業費(砂防事業費):570百万円  
事業費(砂防管理費):640百万円**

#### 警戒区域内の無人化施工



# 本明川ダム建設事業【直轄】

継続

河川-10

## ■事業概要

○場所 長崎県諫早市(本明川水系本明川)

○目的 洪水調節  
流水の正常な機能の維持

○諸元 堤高:約55.5m 総貯水容量:約6,200千m<sup>3</sup>

○経緯 平成2年度 実施計画調査着手  
平成6年度 建設事業着手

○事業効果 ダムによる洪水調節を行い、本明川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。また、下流河川の環境を維持するための水量を確保し、渇水被害の軽減を図る。

◆洪水被害と渇水被害の軽減を図るダム

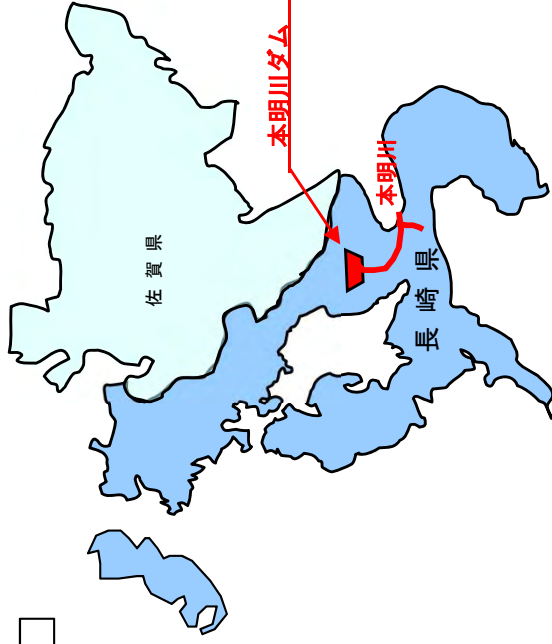
■令和2年度実施内容  
付替道路工事、用地補償、  
本体関連の調査・測量・設計 等

本明川ダム完成イメージ

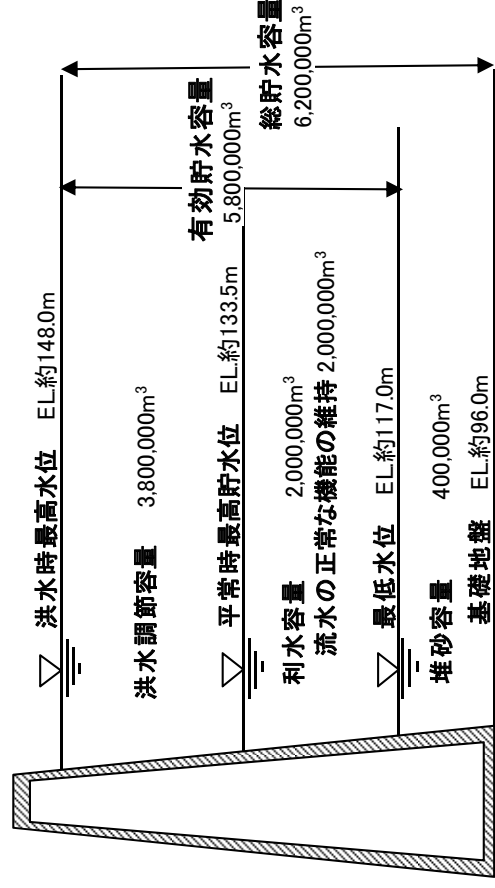
事業費：3,778百万円



位置図



諸元



# 緑川水系潤川大規模特定河川事業【補助】

新規

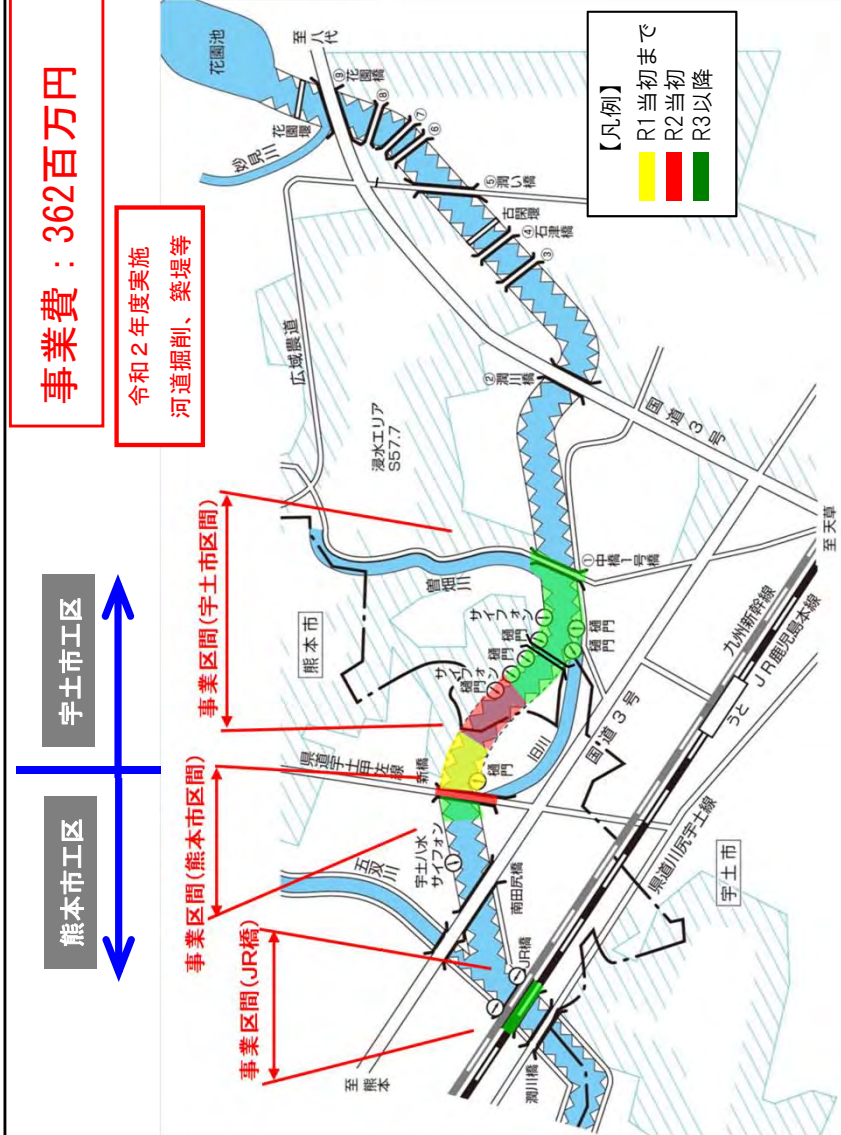
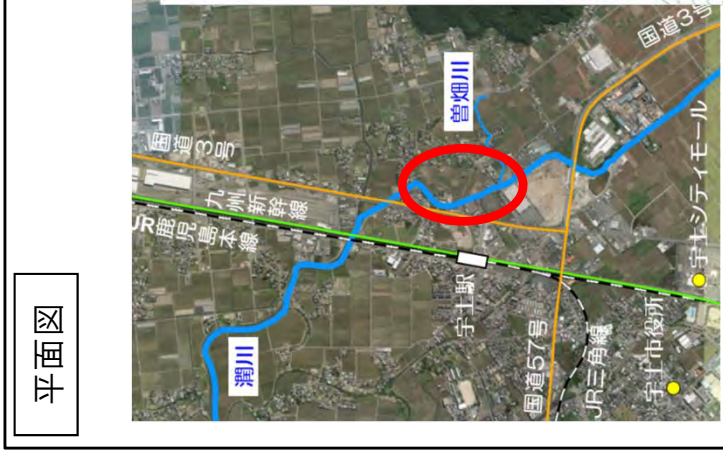
河川-111

## ■ 緑川水系潤川大規模特定河川事業（熊本市、宇土市）

○ 緑川水系潤川は宇土市と熊本市にまたがり、宅地化や急激な人口増加が見込まれ、さらに宇土駅周辺の商業地の増加など再開発が進んでおり、頻発する浸水被害の解消が強く望まれている。このため、大規模特定河川事業により、河川改修を集中的に実施し、早期に治水安全度の向上を図る。

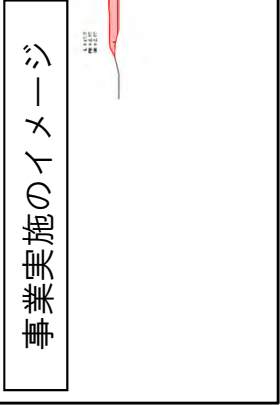
**位置図**

**被害状況**



12

**被害状況**





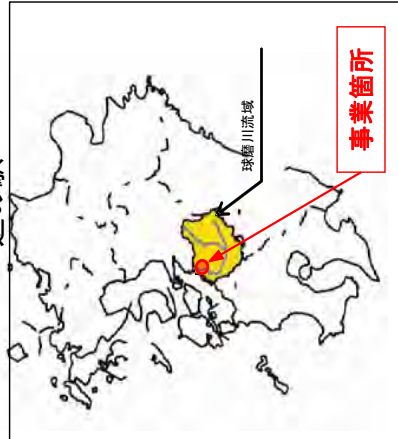
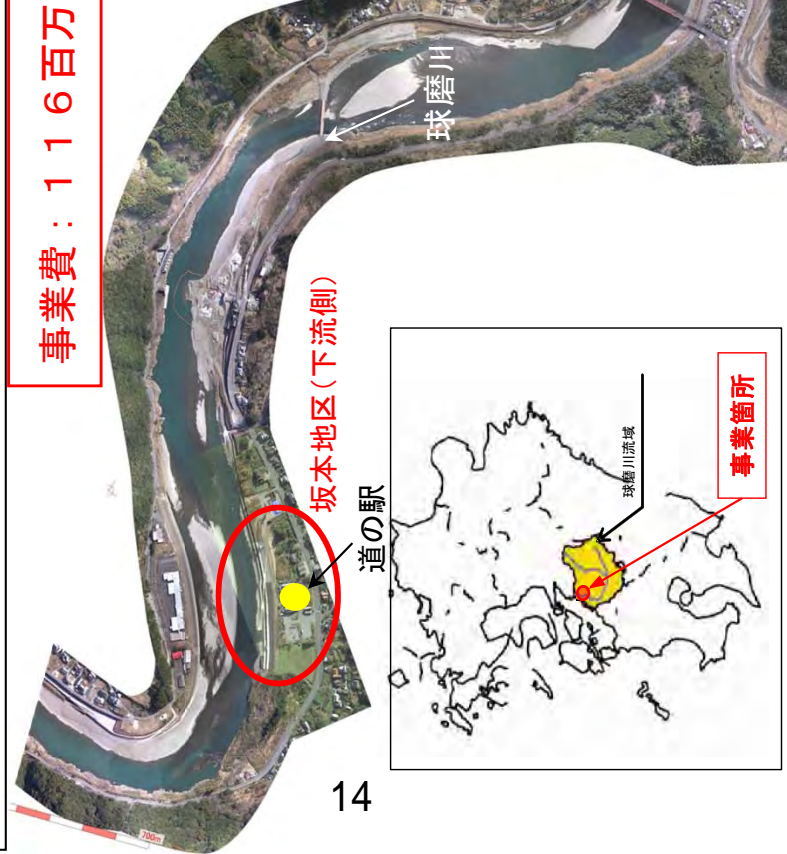
## ■坂本地区水辺整備事業

○球磨川では「坂本地区かわまちづくり」が登録されている。  
 ○坂本地区では、荒瀬ダム撤去に伴う球磨川を活かした新たな観光資源の開発などを行っており、河川管理上の安全安心に係わる河川管理施設の整備を図るとともに、地域住民が集い地域の交流を促進するための拠点整備等を行う。

事業費：1116百万円

※水系全体を記載

令和2年度  
 実施内容  
 護岸工、坂路工



「食処さかもと鮎やな」オープンセレモニー（H30.7月）



イベント交流施設



鮎やな設置状況

坂本地区(上流側)



水遊び交流イベント



広域交流センターさかもと館  
 (道の駅さかもと)



坂本地区 整備イメージ(下流側)



坂本地区 整備イメージ(上流側)

# 立野ダム建設事業【直轄】

継続

河川-14

## ■事業概要

○場所 (右岸)熊本県阿蘇郡南阿蘇村

あそぐん みなみあそむら

(左岸) " 菊池郡大津町(白川水系白川)

きくちぐん おおつまち しらかわ

○目的 洪水調節

○諸元 堤高:約90m 総貯水容量:約10,000千m<sup>3</sup>

○経緯 昭和54年度 実施計画調査着手  
昭和58年度 建設事業着手

○事業効果 ダムによる洪水調節を行い、立野ダム下流域の治水安全度の向上を図る。

◆洪水被害軽減を図る洪水調節専用のダム

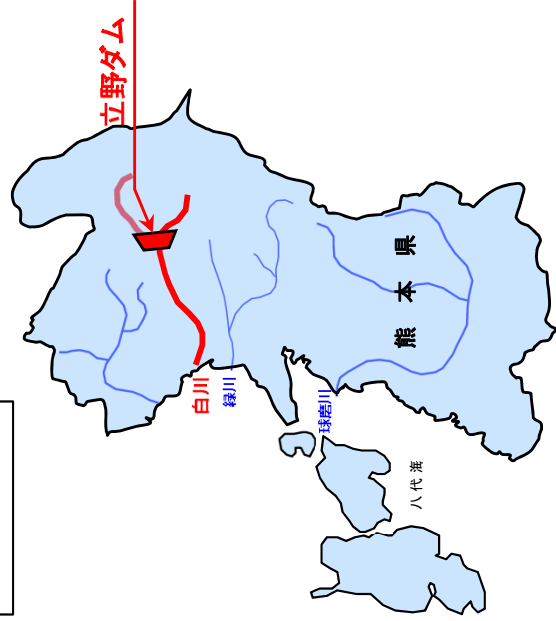
■令和2年度実施内容  
本体工事、工事用道路工事 等

事業費：9,642百万円

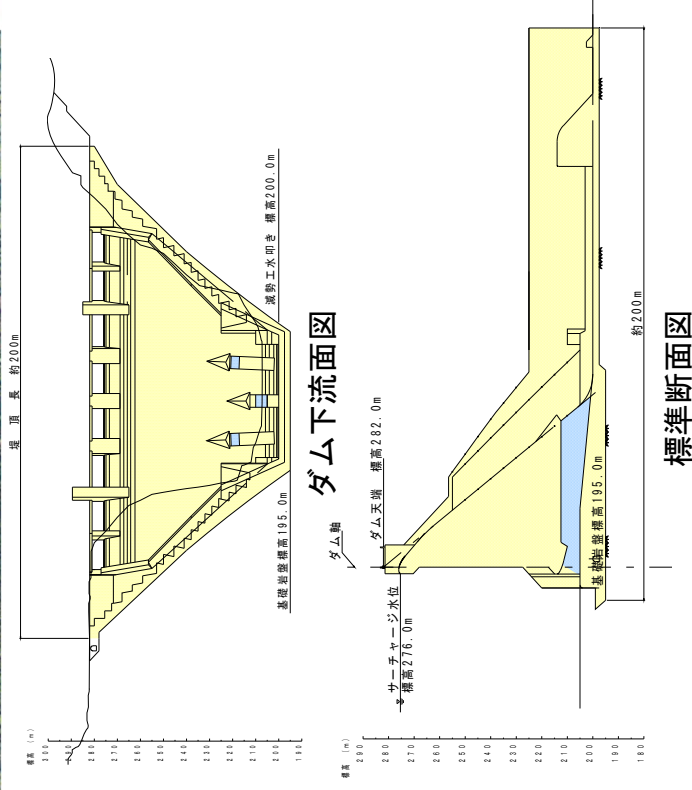
赤字・・・令和2年度に実施する工事箇所



位置図



立野ダム完成イメージ





# 阿蘇山直轄砂防事業

継続

河川-15

## 阿蘇山直轄砂防事業(阿蘇市、南阿蘇村)

○平成28年熊本地震とその後の降雨を踏まえ、土砂災害による被害を防止・軽減するため、阿蘇山(阿蘇カルデラ内)において、砂防堰堤等の整備を実施。

**令和2年度  
実施内容:砂防堰堤工等  
事業費:2,355百万円**



土石流発生状況

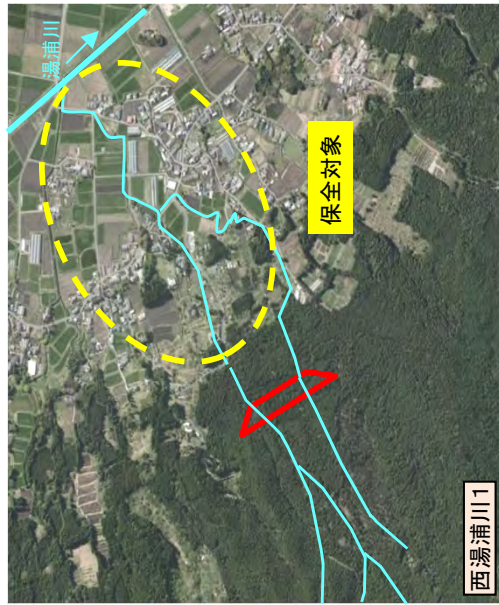
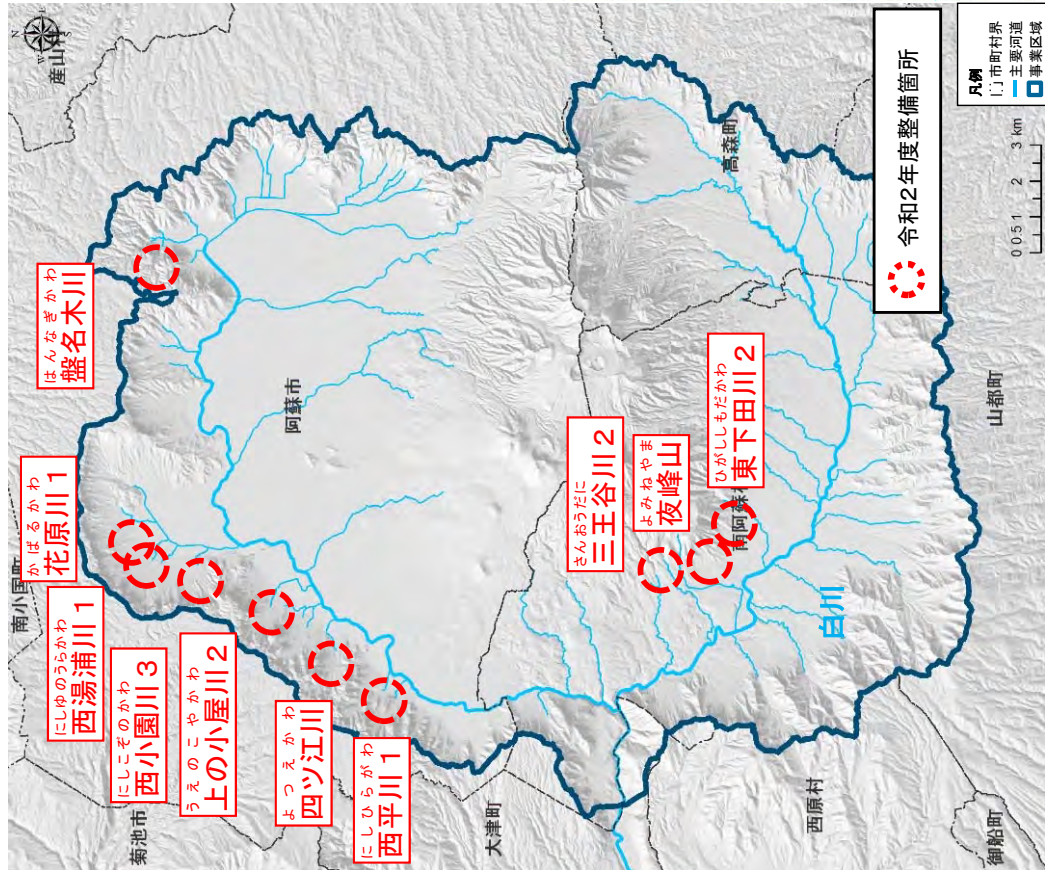


地震後の土砂の流出状況

H28.4.29撮影



H28.8.6撮影



西湯浦川1



東下田川2

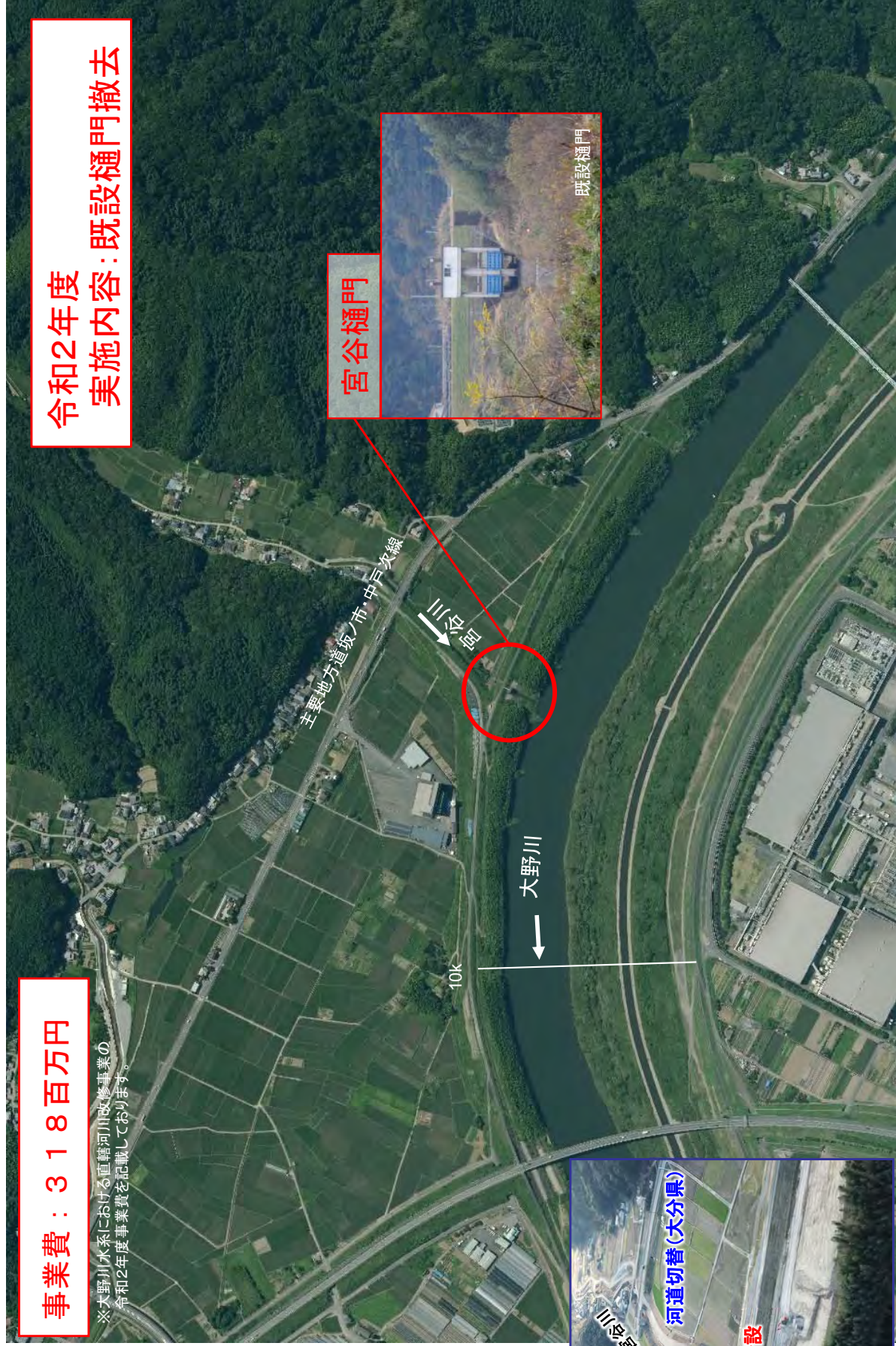
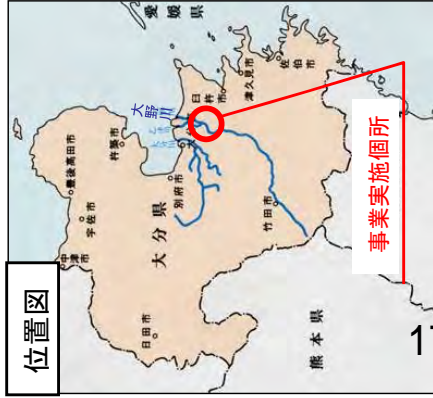
# 宮谷内水対策事業(宮河内地区)【直轄】

完成

河川-16

■ 当該地区では平成5、16、17、23、24、29年と度重なる水害を受けており、大分県が実施している宮谷川の河川改修事業と連携して宮谷排水樋門の改築を実施している。

■ 令和2年度に既設樋門を撤去することで国で実施している樋門改築が完了する。



※大野川水系における直轄河川改修事業の令和2年度事業費を記載しております。

【工事状況 R2.2】



# 津久見川水系津久見川河川激甚災害対策特別緊急事業【補助】

継続

河川-17

## ■津久見川水系津久見川河川激甚災害対策特別緊急事業（津久見市）

○平成29年9月の台風19号に伴う豪雨により、津久見川流域では床上浸水575戸、床下浸水412戸の甚大な被害が発生した。このため、河川激甚災害対策特別緊急事業により、河道掘削、橋梁改築等を緊急的に実施し、早期に治水安全度の向上を図る。

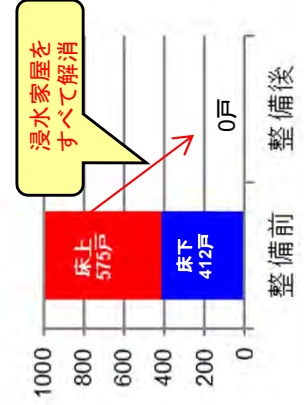


位置図



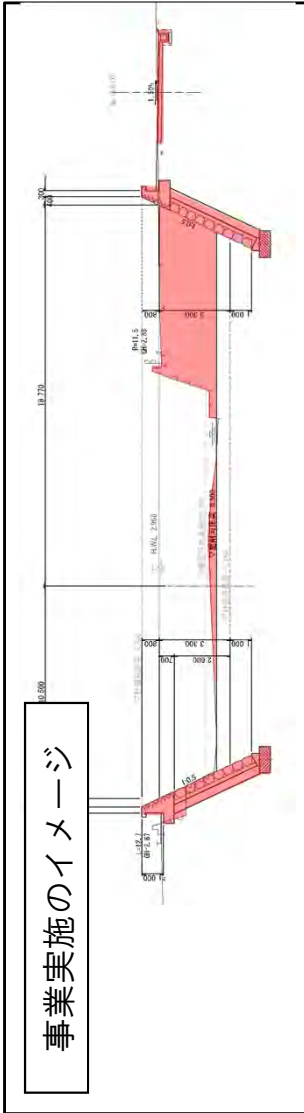
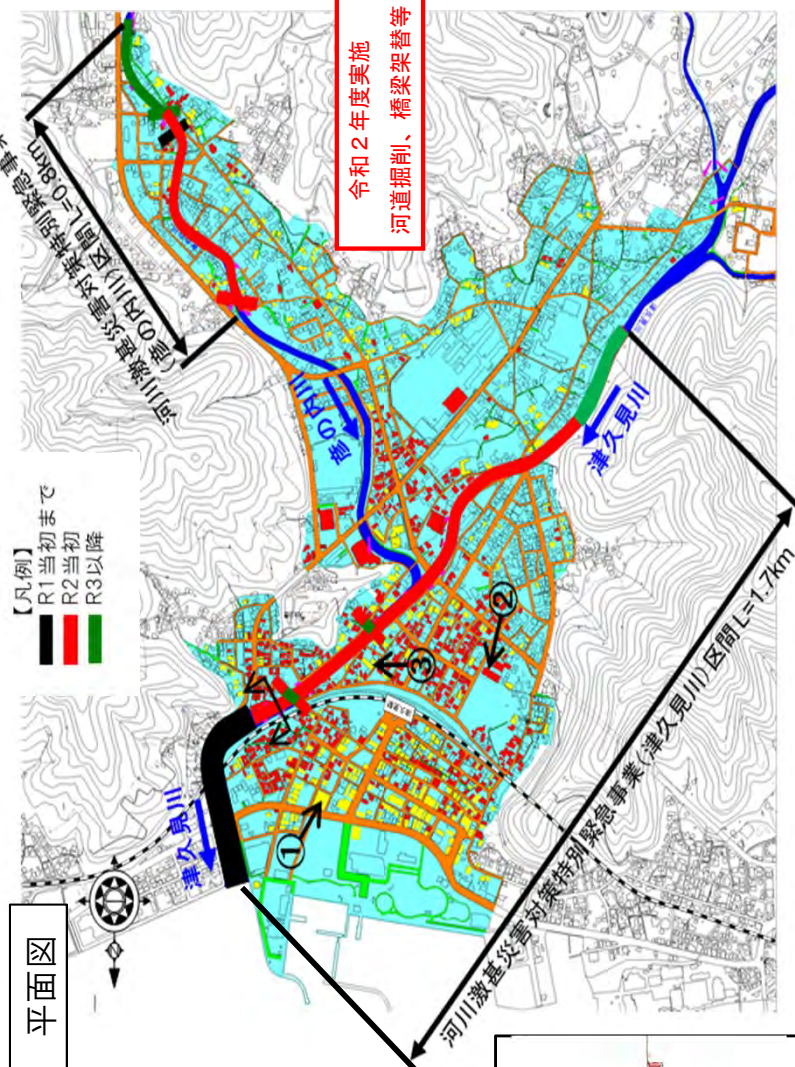
事業費：1,800百万円

被害状況



| H29.9.17 出水 | 浸水戸数(戸) |     | 計   |
|-------------|---------|-----|-----|
|             | 床上      | 床下  |     |
|             | 575     | 412 | 987 |

平面図



# 竹田水害緊急治水ダム建設事業(玉来ダム)【補助】

継続

河川-18

## ■事業概要

- 場所 (右岸) 大分県竹田市志土知 (左岸) 大分県竹田市川床(大野川水系玉来川)
- 目的 洪水調節(玉来川の洪水被害軽減)
- 諸元 堤高;約52m 総貯水容量;約4,090千m<sup>3</sup>
- 経緯 平成3年度 建設事業着手
- 事業効果 ダムによる洪水調節を行い、玉来ダム下流域の治水  
安全度の向上を図る。

## ◆洪水被害軽減を図る洪水調節専用のダム

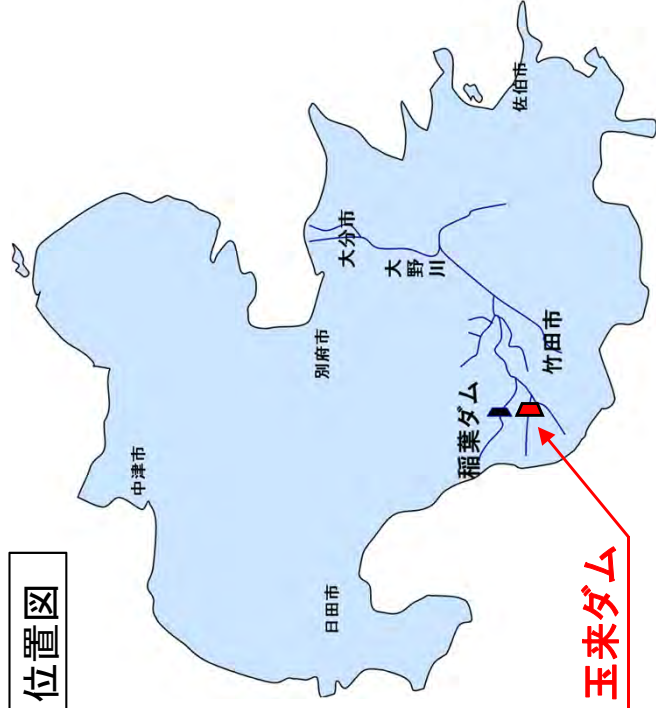
事業費(共同費) : 3,588百万円

■令和2年度 本体工事 等

令和2年度に実施する工事箇所(R2.1撮影)



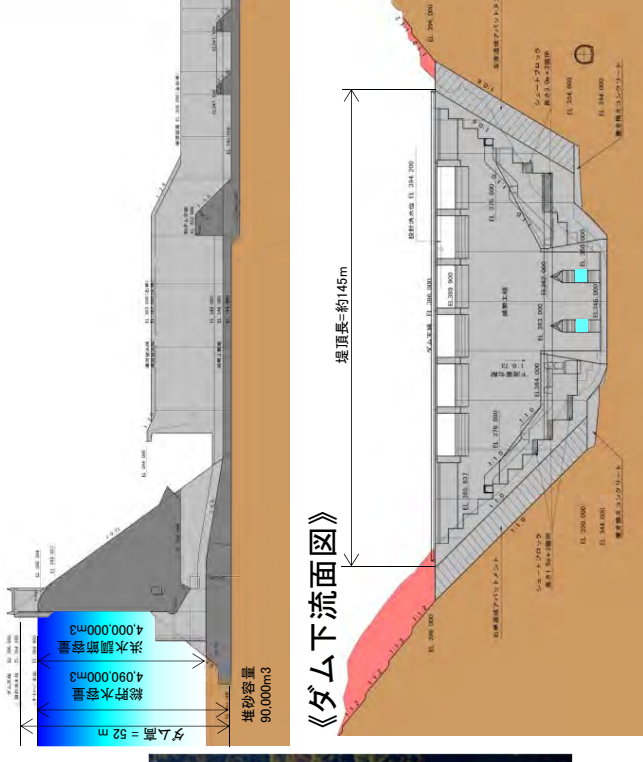
## 位置図



《玉来ダム完成イメージ》



《玉来ダム標準断面図》



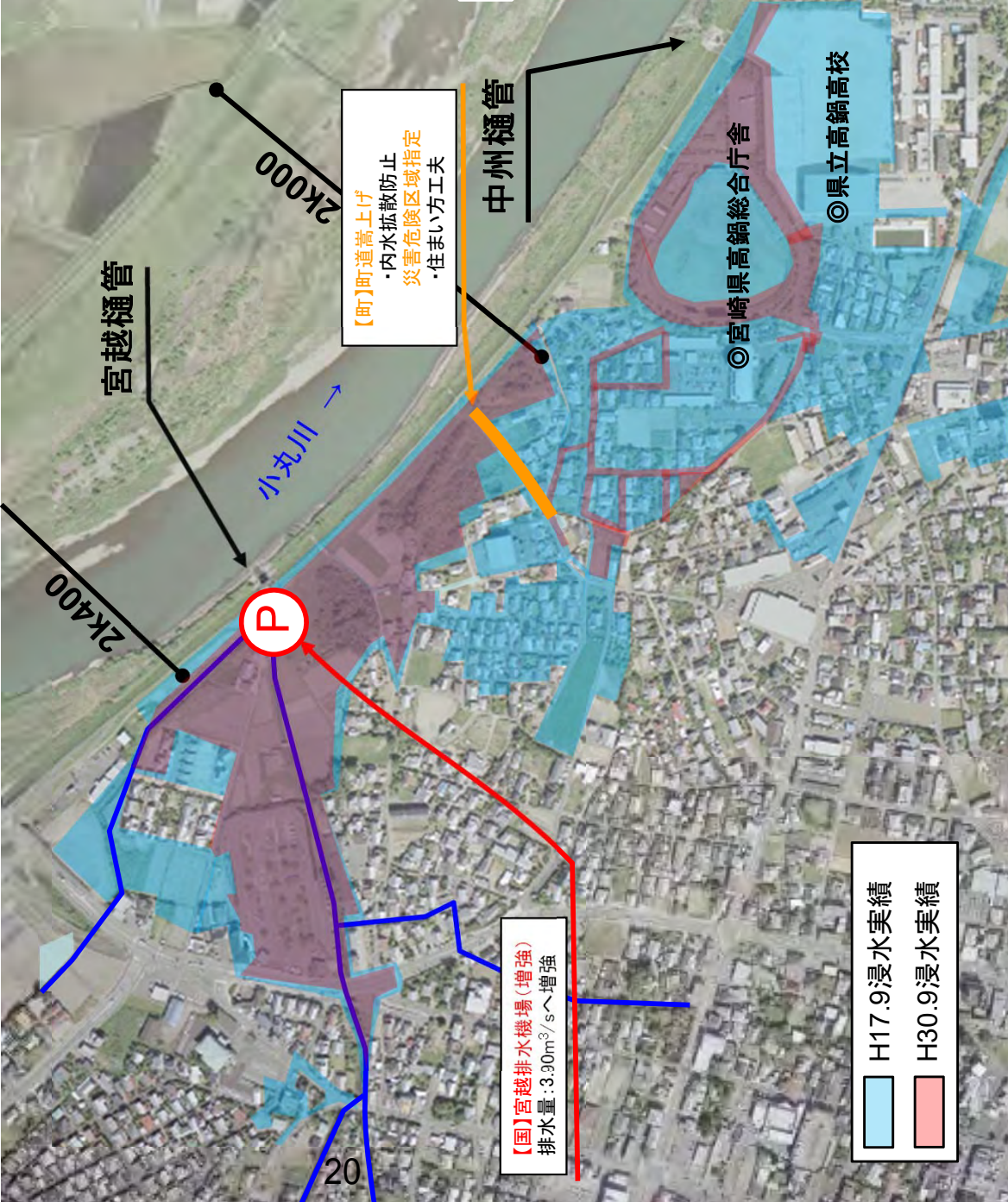
《ダム下流面図》

# 宮越地区総合内水対策事業【直轄】

■小丸川では平成17年9月洪水、平成30年9月洪水において、宮越地区において、床下・床上の浸水被害が発生。国・県・町では、相互に連携し『小丸川宮越地区総合内水対策計画検討会』を設置。総合内水対策を策定し、総合的な内水被害の浸水軽減を図る。

■宮越排水機場の整備を行うことにより、平成17年9月洪水、平成30年9月洪水において、床上浸水被害の軽減を図る。

| 近年出水名        | 床上浸水 (戸) | 床下浸水 (戸) | 浸水面積 (ha) |
|--------------|----------|----------|-----------|
| H17.9(台風14号) | 24       | 146      | 32.1      |
| H30.9(台風24号) | 3        | 16       | 13.5      |



【町】街道嵩上げ  
 ・内水拡散防止  
 ・災害危険区域指定  
 ・住まい方工夫

【国】宮越排水機場(増強)  
 排水量:3.90m<sup>3</sup>/sへ増強

平成17年9月台風14号浸水状況  
 小丸川右岸(2k000)

平成30年9月台風24号浸水状況  
 小丸川右岸(2k400)

主な浸水被害軽減のメニュー

|       |  |
|-------|--|
| 事業主体  | 概ね5年間の計画                                   |
| 国交省   | 3.90m <sup>3</sup> /s 増強                   |
| 高鍋町   | 街道嵩上げ延長約100m<br>災害危険区域指定                   |
| 国、県、町 | 総合内水対策計画に基づくソフト対策の実施<br>(防災教育、分かりやすい情報発信等) |

■ H17.9浸水実績  
 ■ H30.9浸水実績

事業費：355百万円

※小丸川水系における直轄河川改修事業の令和2年度事業費を記載しております。

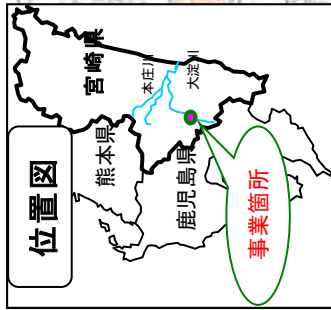
# 大岩田遊水地整備事業【直轄】

新規

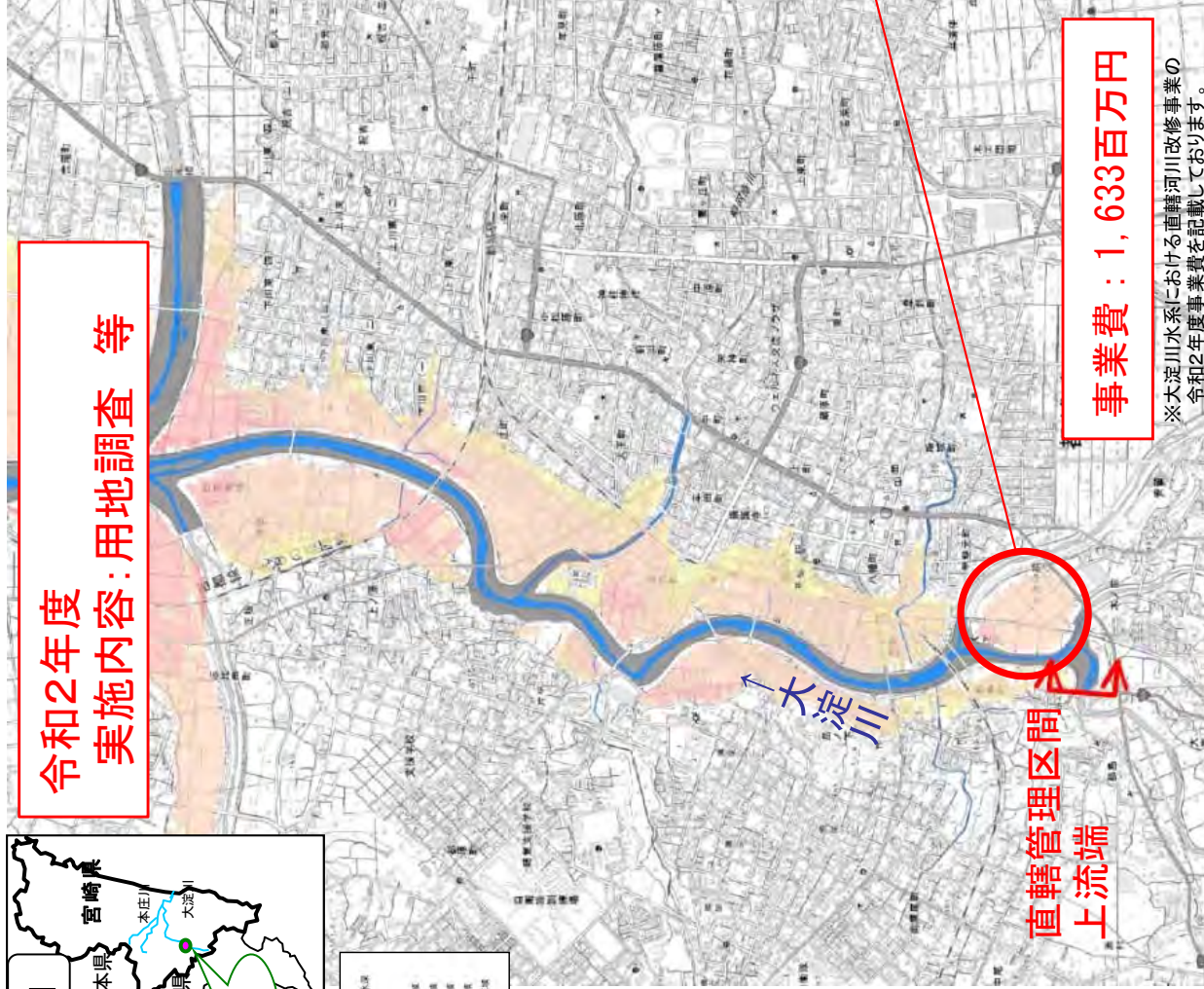
河川-20

みやこのじょう

- 都城市街部では、近年においても氾濫危険水位を超過する洪水（H17, H23, H28, H30, R1）により度々被害が発生している。
- 大岩田遊水地を整備することで、洪水時の河道流量を低減し治水安全度の向上を図る。



令和2年度  
実施内容：用地調査 等



令和元年7月都城市浸水状況写真



大岩田遊水地整備予定地



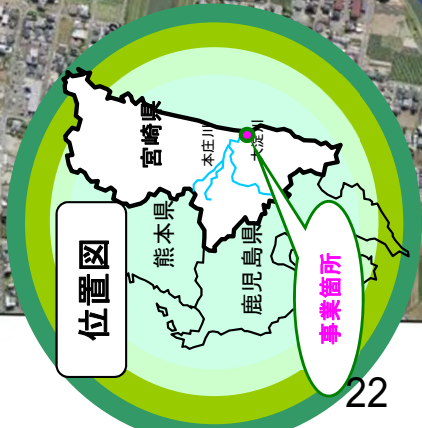
# 津屋原沼津波・高潮対策事業【直轄】

完成

河川-21

やえがわ

- 八重川は宮崎市街部に位置し、周辺には空港、大学、病院に商業施設が密集している区域であり、氾濫等が発生した場合にはその被害は甚大で広範囲に及ぶことが予想される。
- 宮崎市街部で唯一の無堤区間である八重川と津屋原沼の合流点において堤防整備を整備しており、令和2年度に堤防整備等を行うことで一連区間が完了する。



凡例

: 浸水想定範囲



事業費：1,633百万円

※大淀川水系における直轄河川改修事業の令和2年度事業費を記載しております。

# 岩瀬ダム再生事業【直轄】

継続

河川-22

## ■事業概要

○場所 宮崎県都城市、小林市みやこのじょうし、こはやし 岩瀬川おおよどがわ（大淀川水系岩瀬川）

○目的 洪水調節

○諸元 発電容量を治水容量へ振替、放流設備の増設

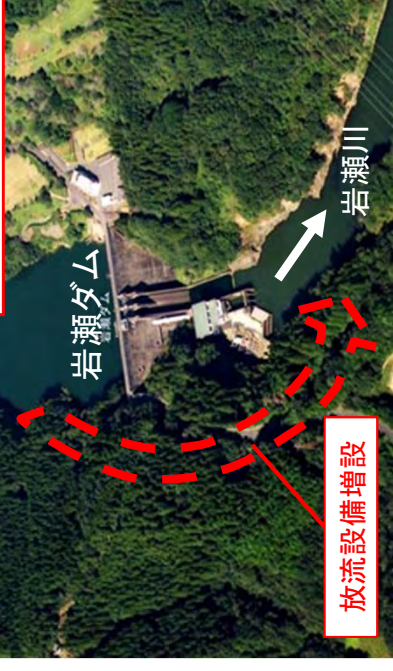
○経緯 令和元年度 実施計画調査着手

○事業効果 ダムによる洪水調節機能の増強を行い、岩瀬ダム下流域の治水安全度の向上を図る。  
◆既存施設の機能向上を行うダム

■令和2年度実施内容  
地質調査、  
増設放流設備構造検討 等

岩瀬ダム再生事業イメージ

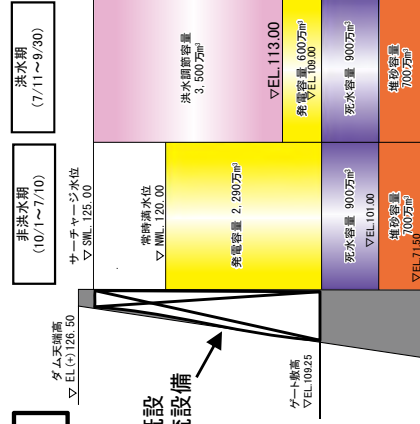
事業費：400百万円



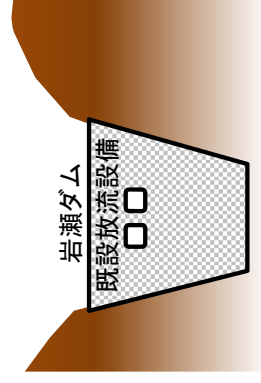
## 位置図



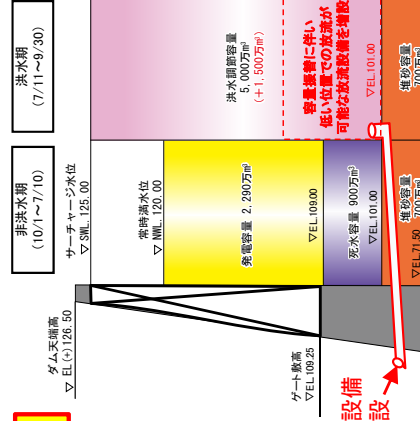
現行



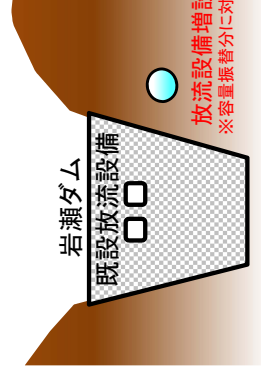
現行



再生後



再生後



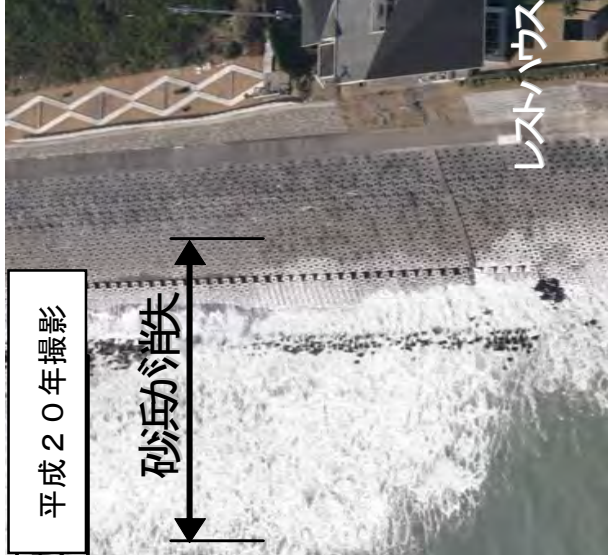
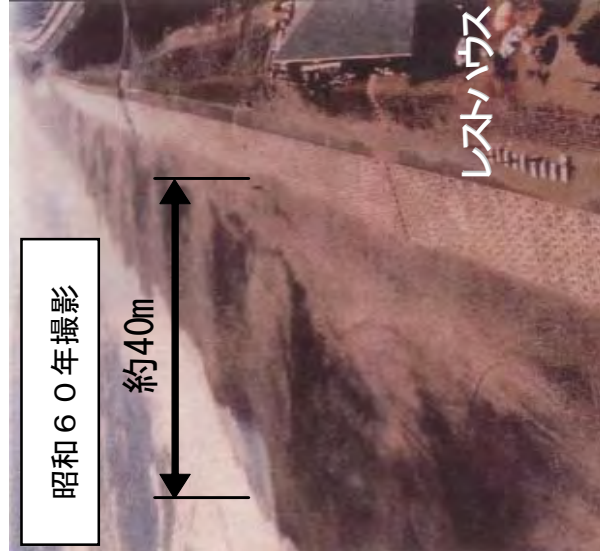
既設の岩瀬ダム(宮崎県管理)の発電容量及び死水容量を洪水調節容量に振り替えることで、  
現況の洪水調節容量を約3,500万m<sup>3</sup>から約5,000万m<sup>3</sup>に増大せるとともに、放流設備の増  
設等を行うことにより治水機能向上を図る。



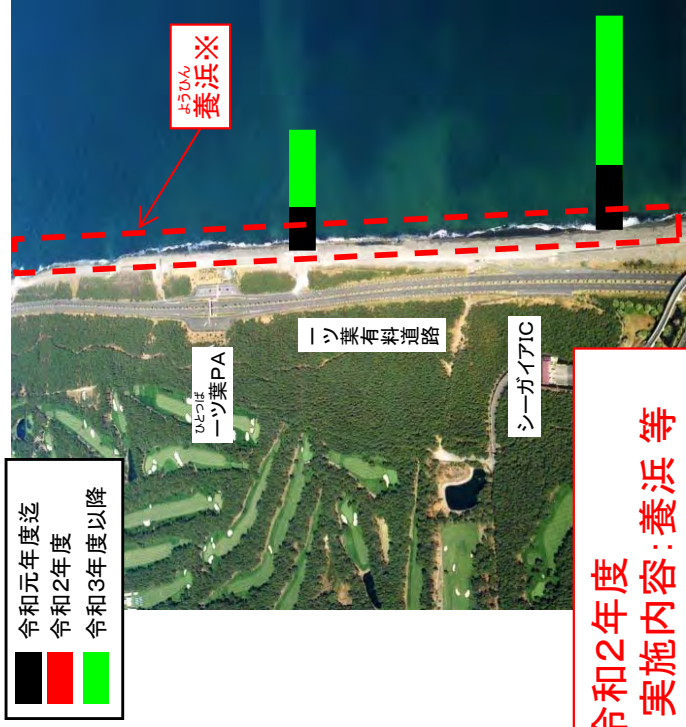
#### ■宮崎海岸直轄海岸保全施設整備事業（宮崎市）

- 宮崎海岸は約50年間で平均約65m（最大94m）の砂浜が侵食され、一ツ葉有料道路目前まで浜崖が迫っており、人家や重要幹線道路への越波など、地域経済への影響は甚大となるおそれがある。
- 波浪による侵食防止対策として、関係機関と連携し、海岸保全施設の整備の実施。

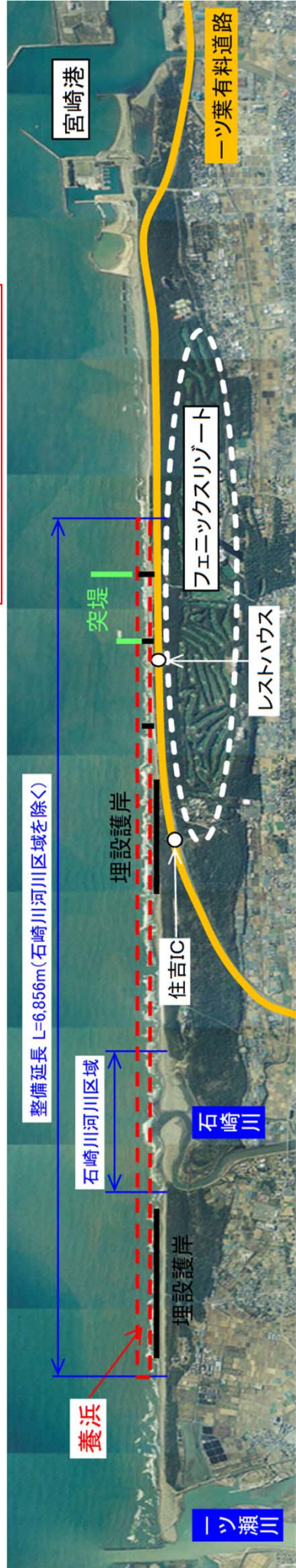
長期的な地形変化



※養浜：海岸に人工的に砂を投入し、砂浜を養うこと。



令和2年度  
 実施内容：養浜 等  
 事業費：504百万円



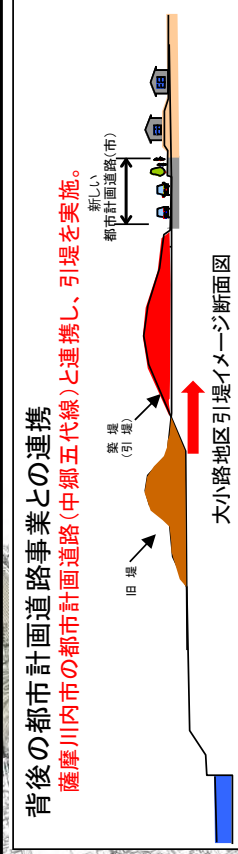
# 大小路地区まちづくり一体型引堤事業【直轄】

完成

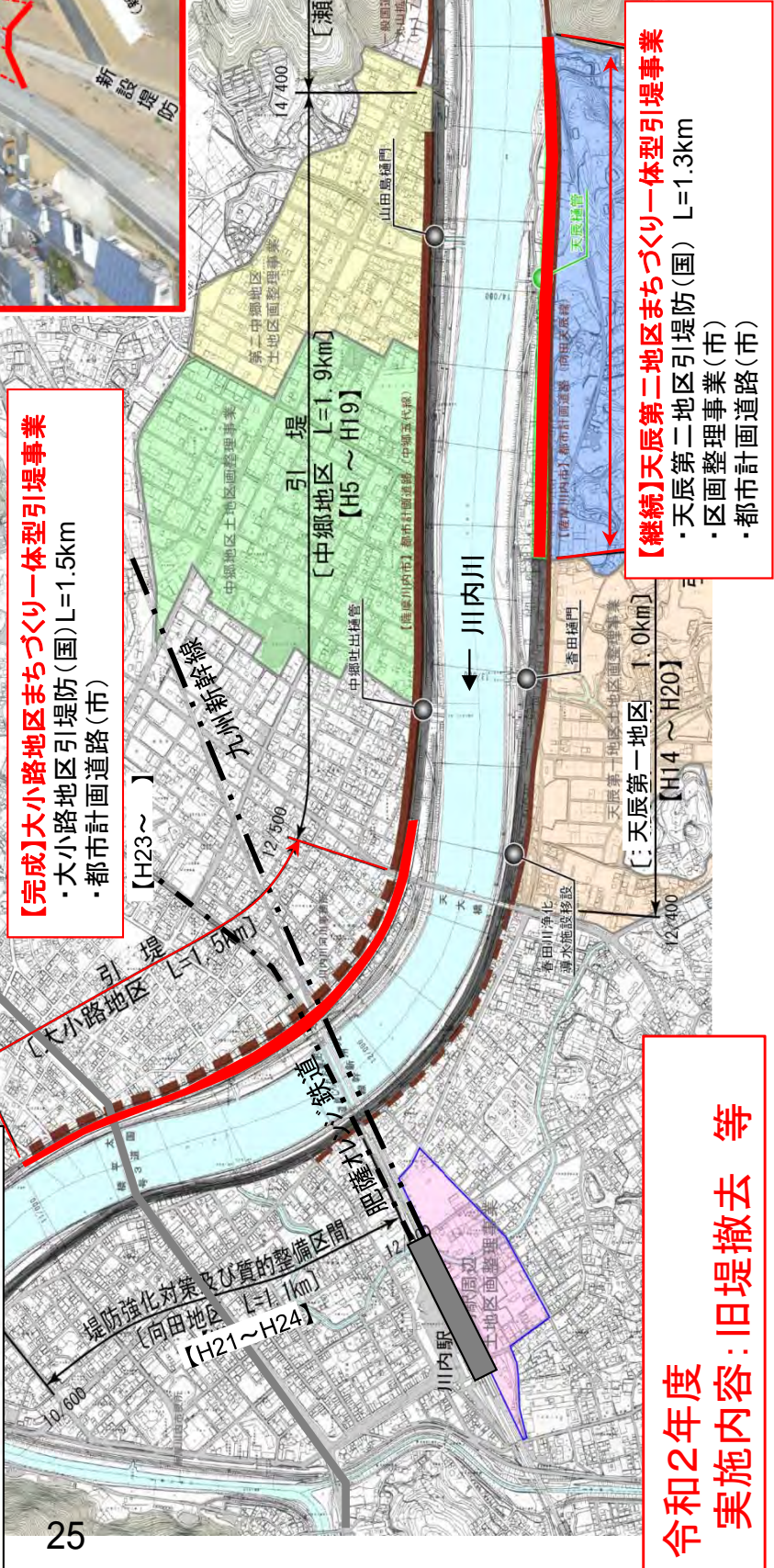
河川-24

■川内川流域の下流部に位置する薩摩川内市は、昭和40年代の洪水により甚大な被害を受け、過去から薩摩川内市の土地区画整理事業と一体となった引堤等の整備を実施。

■大小路地区においては、平成23年度より引堤に着手し、令和2年度に旧堤撤去を行うことで流下能力向上対策の一連工事が完了する。



**【完成】大小路地区まちづくり一体型引堤事業**  
 ・大小路地区引堤防(国) L=1.5km  
 ・都市計画道路(市) [H23~]



**令和2年度  
実施内容：旧堤撤去 等**

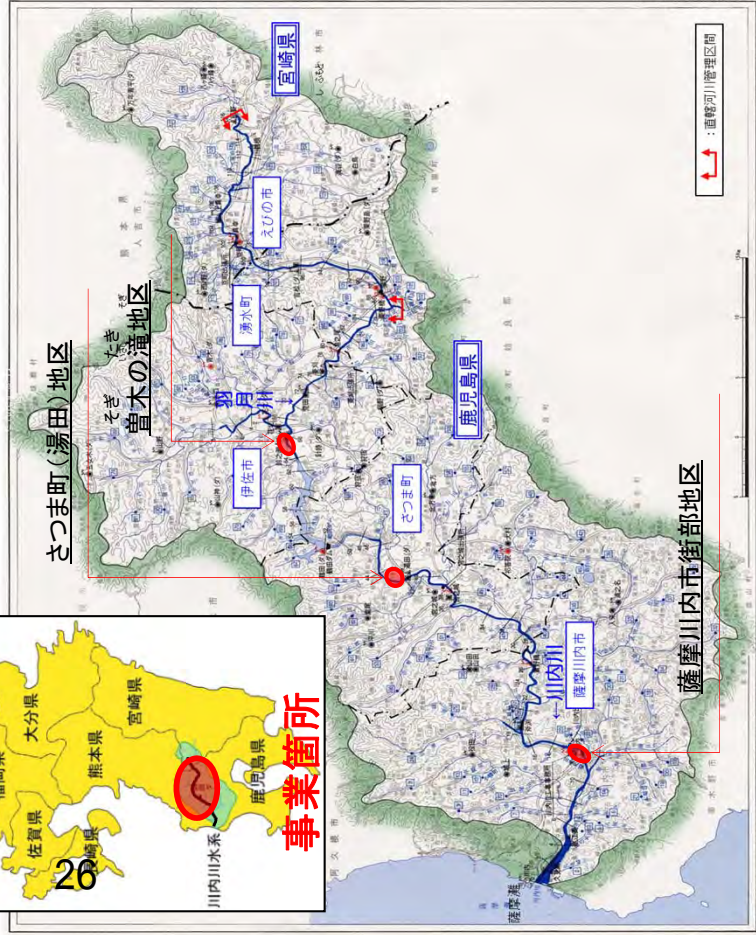
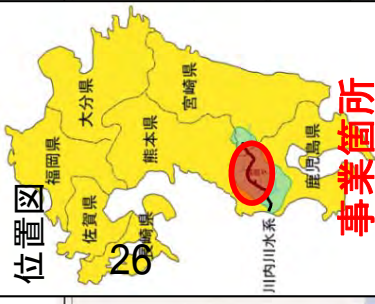
**【継続】天辰第二地区まちづくり一体型引堤事業**  
 ・天辰第二地区引堤防(国) L=1.3km  
 ・区画整理事業(市)  
 ・都市計画道路(市)

**事業費：6,758百万円**  
 ※川内川水系における直轄河川改修事業の令和2年度事業費を記載しております。

### ■薩摩川内市街部地区、さつま町(湯田)地区、曾木の滝地区 水辺整備事業

(鹿児島県薩摩川内市、さつま町、伊佐市)

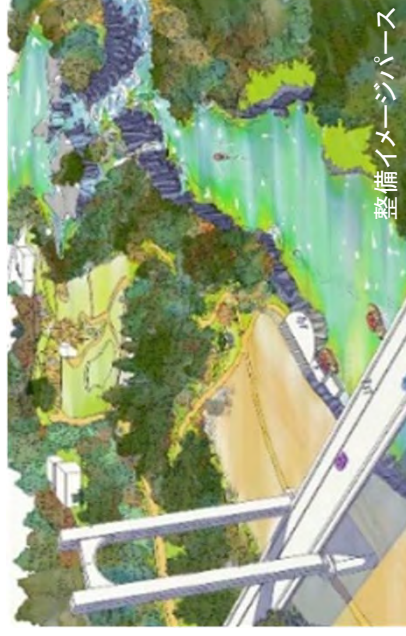
- 川内川流域は、上流域から、えびの市のクルソン峡、湧水町の阿波溪谷、伊佐市の東洋のナイガラと呼ばれる曾木の滝、さつま町の轟の瀬、薩摩川内市の長崎堤防がある広大な河口など、地域毎に素晴らしい河川景観を有しているとともに、鮎やホタルが生息する良好な河川環境のほか、温泉地などの魅力的な地域資源が数多く存在する。地域では、これらの地域資源・場の特徴を活かした、地域活性化が期待されている。
- 流域の5市町が連携・協働し、九州で初となる、「水系一体でのかわまちづくり」が登録されたこと等を踏まえ、国土交通省において、河川利用上の安全性を高めるため、高水敷整正等の整備を実施。



事業費：192百万円

※水系全体を記載

令和2年度  
実施内容：管理用通路、  
高水敷整正、  
階段護岸 等



# 新川水系新川大規模特定河川事業【補助】

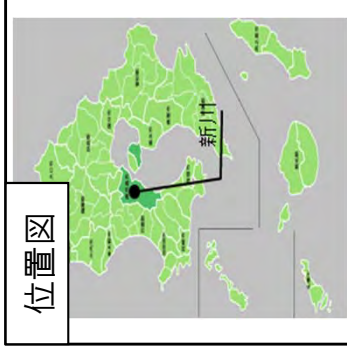
継続

河川-26

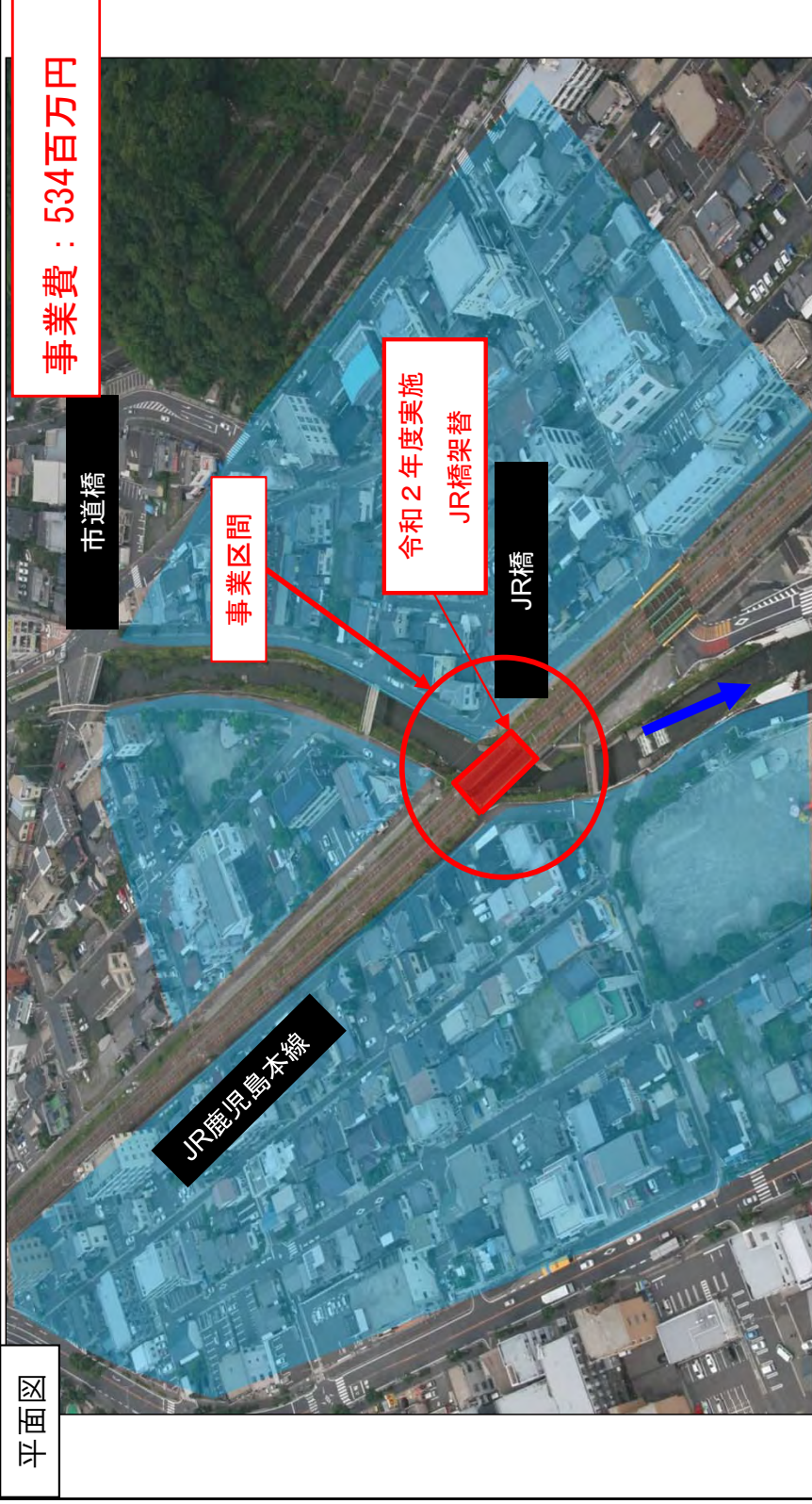
■新川水系新川大規模特定河川事業（鹿児島市）

○新川水系新川は、鹿児島市内の住宅密集地を流下しており、JR橋などが支障となっており、令和2年度豪雨による洪水等で甚大な被害が発生した。このため大規模特定河川事業により、JR橋の架替を集中的に実施し、治水安全度の向上を図る。

位置図



平面図

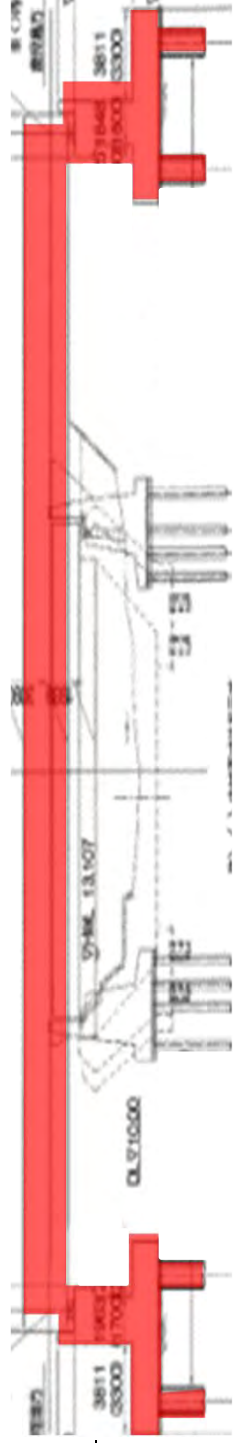


事業費：534百万円

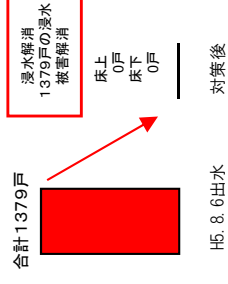
浸水戸数

| 洪水名        | 1時間雨量 <sup>1)</sup> (mm) | 浸水家屋数 <sup>2)</sup> (戸) |
|------------|--------------------------|-------------------------|
| 昭和44年6月30日 | 40.0                     | 324                     |
| 昭和61年7月10日 | 58.0                     | 187                     |
| 昭和63年8月22日 | 52.0                     | 116                     |
| 平成5年8月6日   | 56.0                     | 1,379 <sup>3)</sup>     |
| 平成7年8月11日  | 99.0                     | 1,283 <sup>3)</sup>     |
| 平成10年10月7日 | 68.5                     | 150 <sup>4)</sup>       |
| 平成15年7月29日 | 58.0                     | 302 <sup>4)</sup>       |

事業実施のイメージ



事業効果

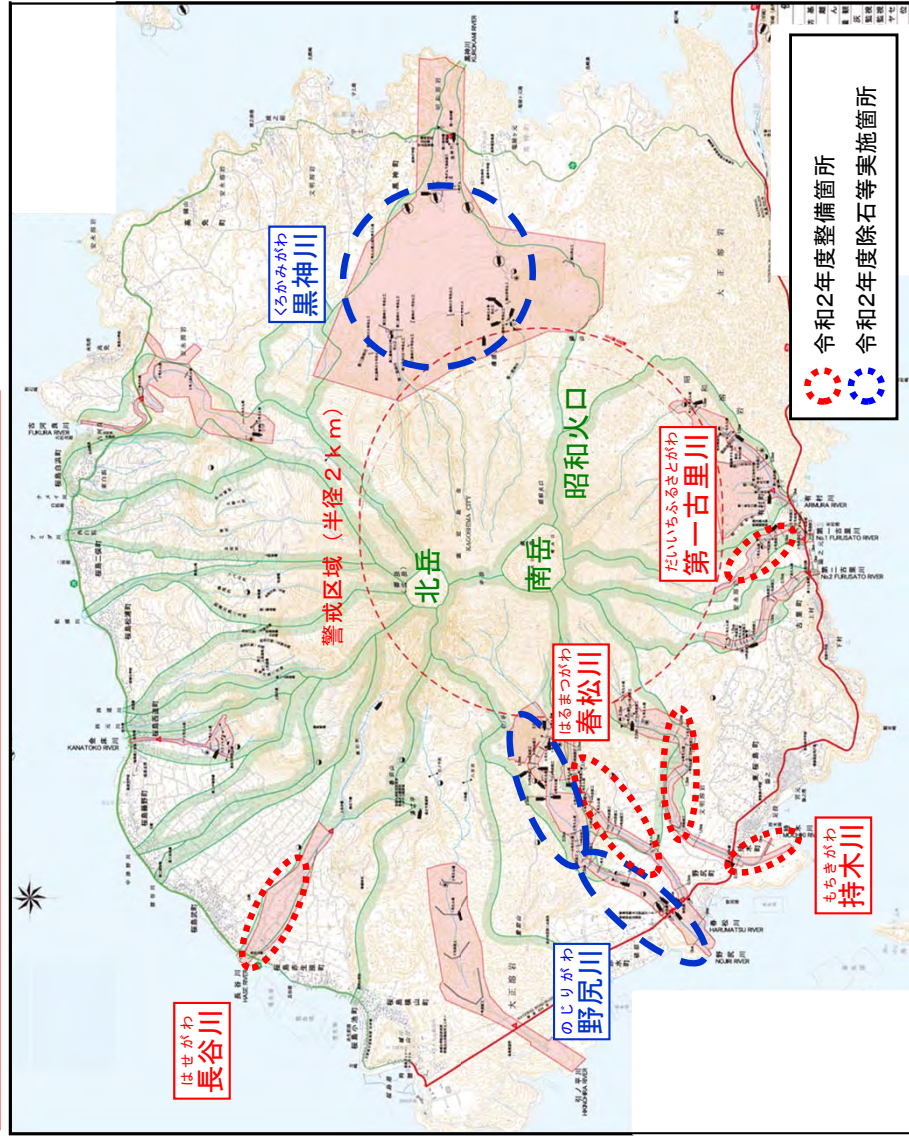


## ■桜島直轄火山砂防事業(鹿児島市)

- 桜島は、活発な噴火活動が継続しており、多量の降灰により降雨時に土石流が頻発。土石流による被害を防止するため長谷川等において砂防施設を整備。
- 土石流が頻発している2渓流(野尻川、黒神川)については、砂防設備の適正な管理・維持のため除石等を実施。

### 令和2年度

実施内容：砂防堰堤工、渓流保全工等  
 事業費(砂防事業費)：1,263百万円  
 事業費(砂防管理費)：846百万円



長谷川の砂防設備状況



野尻川の除石状況